

杉並区立西田小学校 令和5年度第2回 学校運営協議会記録

- ・日時 令和5年5月15日（月） 午後4時から午後5時30分
- ・場所 図書室
- ・出席者 諏訪会長、棚橋会長職務代行（司会）、鈴木校長、恵羅、渡邊、目黒、中澤、半澤、衛本、檜枝（記録）
【事務局】山根副校長
【教育委員会】岡部、涌井
【傍聴者】1名
- ・資料 資料1 令和5年度第2回学校運営協議会次第
資料2 西田小学校令和5年度第1回学校運営協議会記録
資料3 PTA組織改革見直し委員会委員・参加者募集のお知らせ他
資料4 学校運営協議会のあり方について（資料提示 by 諏訪）
資料5 佐藤学著「新版 学校を改革する」の一部分コピー
資料6 学校案内「ユネスコスクール NISHITA の挑戦」

1 会長挨拶

- ・本日は次第「3 今後の学校運営協議会の運営・在り方について」が主要な議題なので、その際にお話をする。

2 校長挨拶

運動会練習が、佳境に入っています。今年度も3部制で行います。今年は、ご来賓へご招待状をお届けいたします。CS委員の皆様も、ぜひ、ご参観いただき、子どもたちのがんばりにご声援をお願いいたします。今年は本部席の隣に、「優先エリア」を設けました。車いすで来られる方、長時間の立ち見がお辛い方、ご高齢の方、妊娠中の方等、譲り合ってご利用いただきたいと思います。

先日、ニシタスの方から教職員へ15分間のOJTを行っていただきました。教職員の大異動もありましたので、まず、半澤さんや祝さん、染谷さんのお顔を知っていただくことが大切です。また、日頃からニシタスの皆様が学校の教育活動に対してどんなことをしていただいているのか、活動をお願いする手順等を伝授していただきました。これからは、先生方がより積極的にニシタスさんへ様々なことがご相談できることと思います。

先日、令和5年度第1回目のPTA運営委員会が開催されました。目黒委員、衛本委員も参加されました。衛本委員からは、その他のところで今年度のPTA活動についてお話ししいただくことになっています。その席では、私からこの2か月の振り返りをした内容についてお話をしました。一連の出来事について、CS委員の皆様、前執行部の皆様、また新執行部の皆様、そして保護者の皆様、多くの皆様が大変不快な思いをされたこと、様々な混乱があったこと、私の学校運営に不信感をもたれた方が多くおられたこと等について、校長として深く反省しております。

けれども、現在、大きな宿題をかかえられた新執行部の皆さんも、様々なアイデアを出し合いながら、着実に前に進んでいらっしゃいます。我々教職員も、新たなPTA活動を創り上げるために、共に協力、協働していきたいと思います。

本日は、今後の西田小CSが、真にコミュニティスクールになれるように、本校ならではのCSの在り方や運営の仕方を皆さんで議論していただければ幸いです。よろしくお願ひいたします。

- ・以上の挨拶を受けて委員から、昨年度末に行われたPTA臨時総会で採決された内容に、児童や保護者を差別する内容が含まれているかどうかを知りたい、との質問がありました。

質問に対して、PTA会長（傍聴者）から、資料3に基づいて、現状と今後の取り組みについて説明がありました。

*以下を決めました：昨年度末の3月に行われた臨時総会で可決された組織改革案の審議延期、組織改革見直し委員会の発足、情報開示（会員・非会員の保護者の隔てのない保護者間での情報提供スタート、会議欠席者へ会議音声ファイル共有）。

*組織改革見直し委員会は、PTA会員、非会員、OBOGを含めた西田小に関わる幅広い人々意見を募り、よりよいPTA組織を目指しています。

3 今後の学校運営協議会の運営・在り方について

- ・諏訪会長から資料4の説明がありました。
- ・学校支援課職員から、学校運営協議会の活動は、地域に開かれた学校を目指す、よりよい学校教育を目指す、責任を持って活動にかかわることが大切、とのお話がありました。
- ・学校運営協議会は学校支援本部、保護者、地域などと協力して全体で学校を支えるものです。西田小でも皆で仲良く支えていると思います。
- ・学校運営協議会の法律的な基盤は踏まえなければいけませんが、ここで議論すべきことはもっと具体的に我々が何をしてきたかです。昨年度のPTAの組織改革に問題があつたことが出発点です。この問題を学校運営協議会で議論してこなかったのは、校長が学校運営協議会で議論する課題との認識が無かったからでしょう。しかし、よりよい学校にするためには、このような具体的な課題も協議すべきです。今後はPTAとも連携を密にすべきです。
- ・杉並区は学校運営協議会と学校支援本部が、基本方針を共有して連携して一体的な推進を目指しています。しかし、学校運営協議会で支援本部が報告しても協議は行われず、支援本部が参加する意味は何なんだろう、と孤独を感じてきました。これからは有機的な協力関係を目指したいです。
- ・支援本部からはこれまで報告がありましたが、計画の事前相談あると有機的な協力関係を構築しやすくなると思います。
- ・ユネスコスクールは外部で高い評価を受けていますが、一部の優秀な児童には良いでしょうが、多くの児童にとってどうなのか疑問を持っています。英語村についても同様な疑問を持っています。このような活動になじめない児童に対してどのように対応しているのでしょうか。

学校運営協議会は、外部評価よりも一人一人の児童にとってどうかについて積極的に議論すべきだと思います。

- ・児童の評価はアンケート結果からわかると説明されますが、児童はお世辞も書きます。いつも手放しの賞賛を聞かされますが、そうでないこともあるはずです。
- ・児童の自己評価と、児童を支える教員の自己評価の両方を合わせてみていく必要があります。働き方改革で教員の負担が増えないような工夫が必要で、たとえば google form などの活用も有効です。
- ・ESD の評価を専門にしていますが、小学生は自己評価が甘く、中学生は辛く、高校生になると落ち着いてくる傾向があります。「できた」という雰囲気がある小学校は活発です。西田小はそのように思います。ユネスコスクールの取り組みはそのために有効で大切だと思います。
- ・ESD については情報共有・コミュニケーションが大切だと思います。
- ・諏訪会長から資料 5 の説明がありました。キーワードは保護者や市民の「学習参加」です。
- ・学校運営協議会で PTA からの発信がほとんどなかったので、今後は積極的に発信して欲しいです。
- ・本年度の PTA 活動はこれまでにないものを目指しているので、それを学校運営協議会がどのように支援すのかを判断するために、PTA の現状の説明が欲しいです。

質問に対して、PTA 会長（傍聴者）から説明がありました。

* 「広報誌にしたのか」の配布は、昨年度までとは異なり会員と非会員の区別をなくして対応します。

* 地域との協力を大切にしたいと思っています。

* 組織率は 80%程度です。執行部のうち 3 人はフルタイムで働いていますが、働いていても参加できるように Zoom や会議音声ファイル共有などを活用しています。

- ・この報告に対して、PTA と学校運営協議会の情報共有の第一歩として良かった、との意見がありました。

4 その他

- ・協議会だより 7 号は、近日中に印刷できるので、次回に配布します。
- ・学校支援課職員から、学校運営協議会では情報共有が大切というお話をありました。
- ・11 月に計画していた松溪中学校との合同協議会は、開催回数が 9 回に制限されたため、本年度は見送りたいとの意見が松溪中学校からありました。この件に関しては次回に意見を取り纏めることにしました。
- ・学校案内「ユネスコスクール NISHITA の挑戦」（資料 6）が配布されました。

事務連絡

6 月学校運営協議会開催予定

6 月 26 日（月）午後 4 時 00 分～午後 5 時 30 分

以上